



学校教育目標（令和2年度より）

◎ 人を愛し、人に愛されながら、夢や目標をかなえるために

- 1) 考えを形成し、伝え合うなかで集団の考えを深化・発展させる能力を身につける【知】
- 2) 他者の考えや思いを受け止めて聴き、寄り添う態度を身につける【徳】
- 3) 安全で健康的な生活を営むために、基本的な生活習慣を身につける【体】
- 4) 決まりを理解し、集団のなかで、協働・協調する姿勢を身につける【公】
- 5) 自身の意思を決定し、意図的・計画的に表現する実践力を身につける【開】

楽しむ

校長 萬谷恵三子

今年は本当に暑い夏でした。気温30℃以下の日があったかどうか記憶にないくらい暑い夏でした。そんな中で夏休みはどう過ごしましたか。今日から2学期になります。2学期は第2回定期テスト、文化発表会、第3回定期テスト、個人面談、特に3年生は進路決定のための面談があります。たくさんのことがある2学期です。特に文化発表会の合唱コンクールは、クラスで一つのハーモニーを創り上げるという行事です。行事は大好きという人もいれば少し苦手という人もいますかと思えます。みんなでまとまって一つのことをやるのは人生の中でそんなに多くはありません。多分学生の時が一番多く、社会人になると仕事でまとまることはありますが、無条件で一つのことみんなが向き合うことは少なくなります。行事は「どこが楽しいの?」「つまらない」「やる気ない」などと口に出して言ってしまうと全体の空気が重くなります。確かに否定的なことをいうことで全体の雰囲気はどんよりとして息苦しくなることがあります。

反対に「楽しいね」「いいじゃん」「うまくなったね」と言われると行事を楽しむポジティブな気持ちが生まれます。行事は「楽しい」じゃなくて「楽しむ」ものだと思います。

では、「楽しむ」ためにはどうしたらよいのでしょうか。

○完璧を求めない

思い通りにいかないことはたくさんあります。自分でコントロールできないことはたくさんあります。

○他人と比較しない

「比較とは、喜びを盗む泥棒である」と第32代アメリカ大統領ルーズベルトの言葉です。人と比べても幸せにはなりません。

○他人の目線を気にしない

恥をかきたくないという気持ちが強いと遠慮してしまいませんか。

行事だけではなく、人生も「楽しい」ではなくて「楽しむ」ことが大切です。同じ時間を過ごすなら「つまらなかった」よりも「楽しかった」の方がうれしいですね。

精一杯楽しむことで学校生活が、2倍にも3倍にも充実していくはずですよ。